

ラン科植物 (カトレヤ系) 交配種の 開花について (その2)

磯部 実

本園ではラン科植物、特にカトレヤ属とその近縁属を中心に新品種作出及び類縁関係を探るために、開園当初より系統保存している原種を用いた交配を試みている。作出した交配種のうち6種類は12号(平成3年)で報告した。今回は12号の報告後から、これまで開花した10種類の交雑組み合わせについてその特徴を記録する。なお、すでにサンダー交配種リストに登録されている交雑組み合わせについては、登録名、登録年を付記した。

×Bc. (Bc. Adomiral Jellico × *C. walkeriana*)



偽球形は紡錘形。長さ約15cm、幅約5cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、1~3個の花をつける。花の自然開帳幅は約13cm。花弁、がく片は濃桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く大きく展開し、周辺は波打ち、濃赤紫色、中心(のど部)は黄色。開花期は夏。香りがあり、花弁は厚い。交配番号250。

×Slc. (Lc. Dorothy Fried × *S. coccinea*)



偽球形は紡錘形、長さ約20cm、幅約4cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、1~3個の花をつける。花の自然開帳幅は約7cm。花弁、がく片は濃桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く大きく展開し、周辺は波打ち、濃赤紫色。開花期は秋~冬。交配番号421。

×Lc. (Lc. Christmas Fairy × *C. lueddemanniana*)



偽球形は紡錘形。長さ約20cm、幅約6cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、1~2個の花をつける。花の自然開帳幅は約11cm。花弁、がく片は桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。

唇弁は丸く、周辺は波打ち、濃赤紫色、中心(のど部)は黄色。開花期は秋~冬。交配番号503。

×Lctna. (Ctna. Keith Roth × *L. pumila caerulea*)



偽球形は長紡錘形。長さ約12cm、幅約2cmの長楕円形の葉を2枚展開する。展開する葉の中心から花茎を伸ばし、1~3個の花をつける。花の自然開帳幅は約7cm。花弁、がく片は赤紫色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く、周縁は波打ち、濃赤紫色。開花期は秋~冬。花弁は厚い。交配番号586。

×Lc. (*L. anceps* × *C. amethystoglossa*)

= ×Lc. Amethystella (1918)



偽球形は長い紡錘形。長さ約20cm、幅約6cmの長楕円形の葉を1~2枚展開する。展開する葉の中心から花茎を長く伸ばし、3~6個の花をつける。花の自然開帳幅は約6~7cm。花弁、がく片は桃色で、細長い。唇弁はばち形で、濃赤紫色。開花期は冬。生育は旺盛。交配番号651。

×Blc. (Bc. Pastral × *L. anceps*)

= ×Blc. Penny Ann (1995)



偽球形は長紡錘形。長さ約25cm、幅約5cmの長楕円形の葉を1~2枚展開する。展開する葉の中心から花茎を長く伸ばし、3~6個の花をつける。花の自然開帳幅は約13cm。花弁、がく片は白桃色~薄桃色。花弁は幅広く、がく片は細長い。唇弁は丸く、周縁は大きく波打ち、濃赤紫色、中心(のど部)は黄色。開花期は冬。生育は旺盛。交配番号694。

×Lyon. (*Schom. superbiens* × Lc. Drumbeat)



偽球形は長紡錘形。長さ約30cm、幅約5cmの長楕円形の葉を1枚展開する。展開する葉の中心から花茎を長く伸ばし、2~10個の花をつける。花の自然開帳幅

